

上越教育大学概要

平成元年度



目 次

1	創設の趣旨・目的	1	19	情報教育研究・訓練センター	24
2	沿 革	2	20	保健管理センター	24
3	組 織 図	4	21	附属学校	25
4	運 営 図	5	22	昭和63年度決算額	26
5	役 職 員	6	23	土地・建物	27
6	部組織及び所属講座等	7	24	建物配置図	28
7	職 員 数	8	25	位 置 図	30
8	学生の定員及び現員	10	26	所 在 地	32
9	平成元年度入学志願者数及び入学者数	11			
10	平成元年度都道府県別入学状況	12			
11	昭和63年度卒業生・修了生の就職状況	14			
12	日本育英会奨学生数	15			
13	福利厚生施設	16			
14	公開講座等	18			
15	附属図書館	20			
16	学校教育研究センター	21			
17	附属実技教育研究指導センター	22			
18	附属障害児教育実践センター	23			

1 創設の趣旨・目的

上越教育大学は、新しい理念と構想の下に、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進するための国立の大学である。

今日、教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた広い一般的教養、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

本学は、このような要請に基づき、初等教育教員を養成する学部と、主として、初等中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院をもつ大学として設置された。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成する。

また、学部の教育は、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これにたずさわる教員の養成の重要性にかんがみ、学生の人間形成を重視するとともに、教育課程の改善、教育実習の拡大を図るなど、教育の内容と方法に新しい工夫を加えている。

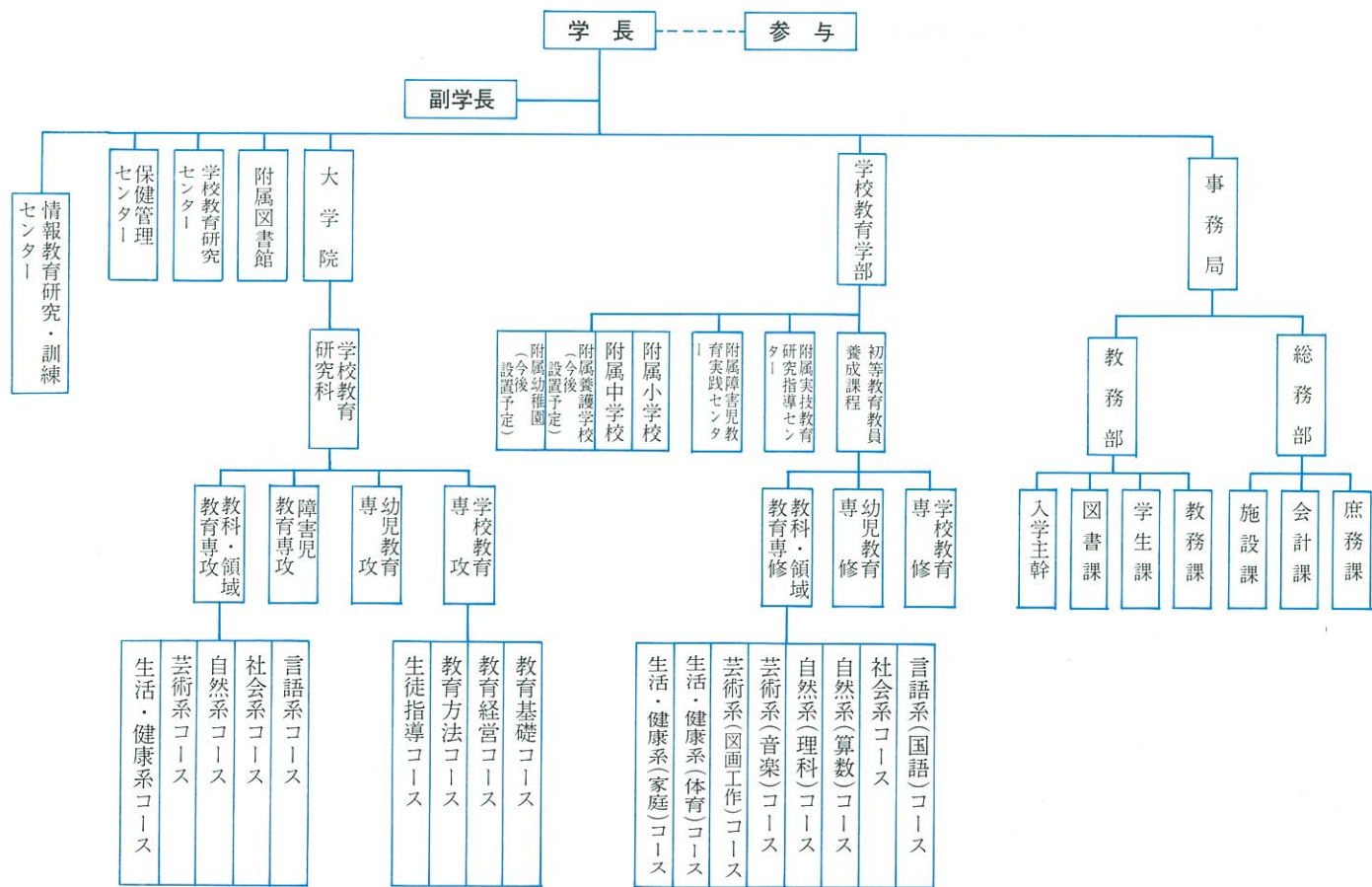
大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の実践に係わる諸科学の研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしている。

2 沿革

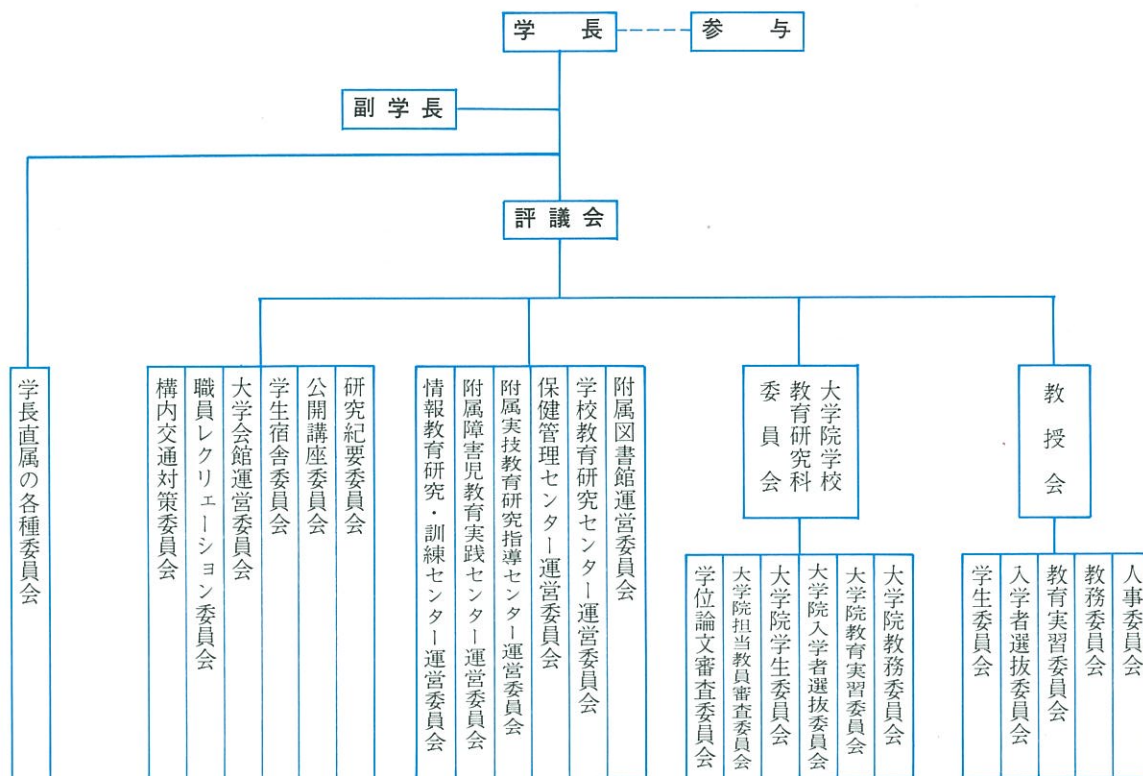
- 昭和51年8月1日 文部省内に「教員大学院大学創設準備室」設置（室長 須田 八郎）
- 昭和53年6月17日 第84国会で「国立学校設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法律」が成立し、本学の新設が決定
 - 10月1日 上越教育大学が開学し、学長に辰野千壽就任、事務局を新潟大学教育学部高田分校内に設置
- 昭和56年1月25日 昭和56年度学部推薦入学者選抜試験実施
 - 3月4～6日 昭和56年度学部入学者選抜試験実施
 - 3月16日 昭和56年度学部入学者選抜試験合格者発表
 - 3月25日 学生宿舎一部竣工（55年7月12日着工）
人文棟竣工（55年2月17日着工）
 - 4月1日 「国立学校の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令」及び「国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴い、附属実技教育研究指導センター、附属小学校、附属中学校の設置（附属学校は新潟大学教育学部附属高田小・中学校を移管）
 - 4月16日 第1回学部入学式挙行
 - 4月20日 旧新潟大学教育学部高田分校の校舎等の一部を使用し、授業開始
 - 5月25日 講義棟竣工（55年9月14日着工）
実験棟、大学会館、設備機械棟竣工（55年9月1日着工）
 - 6月8日 山屋敷地区の第一期工事の校舎等の完成に伴い、事務局、研究室、学生宿舎等の移転
 - 8月10日 音楽棟竣工（55年10月1日着工）
 - 12月2日 学生宿舎一部竣工（56年3月18日着工）
- 昭和57年1月20日 美術棟、体育棟、体育館、小体育館竣工（56年4月1日着工）
 - 3月31日 職員研修センター竣工（56年10月19日着工）
 - 4月1日 保健管理センター設置
 - 8月28～29日 昭和58年度大学院入学者選抜試験実施
 - 9月11日 昭和58年度大学院入学者選抜試験合格者発表
 - 12月11～12日 昭和58年度大学院第2次入学者選抜試験実施
 - 12月15日 学生宿舎一部竣工（57年3月31日着工）
 - 12月25日 昭和58年度大学院第2次入学者選抜試験合格者発表

- 昭和58年 1月25日 附属図書館竣工 (57年 3月29日着工)
- 3月28日 自然棟竣工 (57年 2月26日着工)
- 3月31日 本部事務局竣工 (57年 9月 2日着工)
- 4月 1日 大学院学校教育研究科設置 (学校教育専攻及び教科・領域教育専攻、入学定員140名)
学校教育研究センター設置
- 4月12日 附属図書館開館
- 4月14日 第1回大学院入学式举行
- 5月30日 陸上競技場竣工 (57年 8月14日着工)
- 10月 1日 創立5周年記念式典举行
- 昭和59年 2月10日 学生宿舎竣工 (58年 3月28日着工)
- 3月30日 プール竣工 (58年10月24日着工)
- 4月 1日 大学院学校教育研究科に幼児教育専攻及び障害児教育専攻を増設し、入学定員を300人に改定
- 6月15日 学校教育研究センター竣工 (58年 9月19日着工)
- 8月31日 課外活動共用施設竣工 (59年 3月 5日着工)
- 昭和60年 3月15日 第1回学部卒業式及び第1回大学院学位記授与式举行
- 3月26日 附属小学校校舎 (増築) 竣工 (59年 9月 1日着工)
- 4月 1日 学長に辰野千壽が再任
- 昭和62年 1月28日 附属中学校校舎 (増築) 竣工 (61年 7月 3日着工)
- 4月 1日 学長に辰野千壽が再任
- 附属障害児教育実践センター設置
- 昭和63年 3月31日 附属中学校体育館竣工 (62年 9月14日着工)
- 5月11日 情報教育研究・訓練センター設置
- 11月30日 講堂竣工 (63年 3月25日着工)
- 12月 7日 開学10周年記念式典举行
- 平成元年 4月 1日 学長に松野純孝が就任

3 組織図



4 運営図



5 役職員

学 長 松 野 純 孝
副 学 長 庄 田 新 一

部 局 長 等

附 属 図 書 館 長 大 野 雅 敏
学 校 教 育 研 究 セ ン タ ー 長 森 島 慧
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長 山 本 保
第 一 部 学 部 主 事 細 井 房 明
第 二 部 学 部 主 事 加 藤 章
第 三 部 学 部 主 事 大 澤 健 郎
第 四 部 学 部 主 事 柳 澤 剛
第 五 部 学 部 主 事 篠 田 功
附 属 実 技 教 育 研 究 指 導 セ ン タ ー 長 関 間 豊 吉
附 属 障 害 児 教 育 実 践 セ ン タ ー 長 黒 川 徹
附 属 小 学 校 長 洪 谷 憲 一
附 属 小 学 校 副 校 長 後 藤 亮 一
附 属 中 学 校 長 中 村 登 流
附 属 中 学 校 副 校 長 白 濱 克 男

評 議 員

学 長 松 野 純 孝
副 学 長 庄 田 新 一

附 属 図 書 館 長 大 野 雅 敏
学 校 教 育 研 究 セ ン タ ー 長 森 島 慧
教 授 新 井 郁 男
教 授 細 井 房 明
教 授 安 西 勉 夫
教 授 加 藤 章
教 授 大 澤 健 郎
教 授 柳 澤 剛
教 授 篠 田 功
教 授 関 間 豊 吉
教 授 中 村 登 流

事 務 局

事 務 局 長 野 口 順 啓
総 務 部 長 杉 田 均
庶 務 課 長 上 戸 敏 信
会 計 課 長 中 山 文 夫
施 設 課 長 梅 澤 弘
教 務 部 長 山 口 照 見
教 務 課 長 小 山 田 健 児
学 生 課 長 若 井 明
図 書 課 長 大 林 重 夫
入 学 主 幹 中 林 邦 夫

参 与

井 内 慶次郎 (東京国立博物館長)

植 木 公 (上越市長)

関 四 郎 (日本教育大学協会長)

辰 野 千 壽 (前上越教育大学長
財団法人応用教育研究所長)

田 中 邦 正 (新潟県教育委員会教育長)

戸 張 敦 雄 (前全日本中学校長会会長)

萩 原 繁 夫 (前全国連合小学校長会会長)

6 部組織及び所属講座等

部 名	所 属 講 座 名 等
第一部(学校教育・幼児障害児教育研究部)	教育基礎講座 教育経営講座 教育方法講座 生徒指導講座 幼児教育講座 障害児教育講座 学校教育研究センター 附属障害児教育実践センター
第二部(言語・社会系教育研究部)	言語系教育講座 社会系教育講座 附属実技教育研究指導センターの外国語教育の分野
第三部(自然系教育研究部)	自然系教育講座
第四部(芸術系教育研究部)	芸術系教育講座 附属実技教育研究指導センターの音楽教育及び美術教育の分野
第五部(生活・健康系教育研究部)	生活・健康系教育講座 保健管理センター及び附属実技教育研究指導センターの体育教育の分野

7 職員数

(平成元年5月1日現在)

区 分	学 長	副学長	教 授	助教授	講 師	助 手	小 計	教 頭	教 諭	養護教諭	計	事務局 職 員	合 計
定 員	1	2	90	71		25	189	2	30	2	223	135	358
学 長	1						1				1		1
副 学 長		1					1				1		1
学 校 教 育 学 部			56	66	19	22	163				163		163
学校教育研究センター				2	2		4				4		4
保健管理センター			1				1				1		1
附属実技教育研究指導センター			1	1	2		4				4		4
附属障害児教育実践センター			1				1				1		1
附 属 小 学 校								1	15	1	17		17
附 属 中 学 校								1	15	1	17		17
事 務 局												121	121
現 員 計	1	1	59	69	23	22	175	2	30	2	209	121	330



大学の建物及び上越市(直江津地区)

8 学生の定員及び現員

学校教育学部

(平成元年5月1日現在)

課 程	入学定員	現 員														
		1 年 次			2 年 次			3 年 次			4 年 次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
初等教育教員養成課程	200	75	129	204	76	125	201	81	124	205	68	148	216	300	526	826

大学院学校教育研究科 (修士課程)

(平成元年5月1日現在)

専 攻 ・ コ ー ス		入学定員	現 員								
			1 年 次			2 年 次			合 計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
学 校 教 育 専 攻	教 育 基 礎 コ ー ス	約15	7	3	10	9	4 (1)	13(1)	16	7 (1)	23(1)
	教 育 経 営 コ ー ス	約15	4	0	4	9	0	9	13	0	13
	教 育 方 法 コ ー ス	約10	18	0	18	15	1	16	33	1	34
	生 徒 指 導 コ ー ス	約10	10	0	10	13	1	14	23	1	24
	計	50	39	3	42	46	6 (1)	52(1)	85	9 (1)	94(1)
幼 児 教 育 専 攻		15	4	2	6	5	3	8	9	5	14
障 害 児 教 育 専 攻		25	10	5	15	16	6	22	26	11	37
教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	言 語 系 コ ー ス	約40	13(1)	11(1)	24(2)	20(1)	6	26(1)	33(2)	17(1)	50(3)
	社 会 系 コ ー ス	約30	29	1	30	17	1	18	46	2	48
	自 然 系 コ ー ス	約50	32	4	36	25	3	28	57	7	64
	芸 術 系 コ ー ス	約50	20	11(1)	31(1)	15	10	25	35	21(1)	56(1)
	生 活 ・ 健 康 系 コ ー ス	約40	21	8	29	18	3	21	39	11	50
	計	210	115(1)	35(2)	150(3)	95(1)	23	118(1)	210(2)	58(2)	268(4)
合 計		300	168(1)	45(2)	213(3)	162(1)	38(1)	200(2)	330(2)	83(3)	413(5)

研究生

(平成元年5月1日現在)

区 分	現 員		計
	男	女	
学 校 教 育 学 部	5 (1)	7	12 (1)
大学院学校教育研究科	3	0	3

()内は、外国人
留学生で内数

聴講生

(平成元年5月1日現在)

区 分	現 員		計
	男	女	
学 校 教 育 学 部	2 (1)	4	6 (1)
大学院学校教育研究科	2	0	2

9 平成元年度入学志願者数及び入学者数

学校教育学部

課 程	入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
		男	女	計	男	女	計
初等教育教員養成課程	200	372	420	792	75	129	204

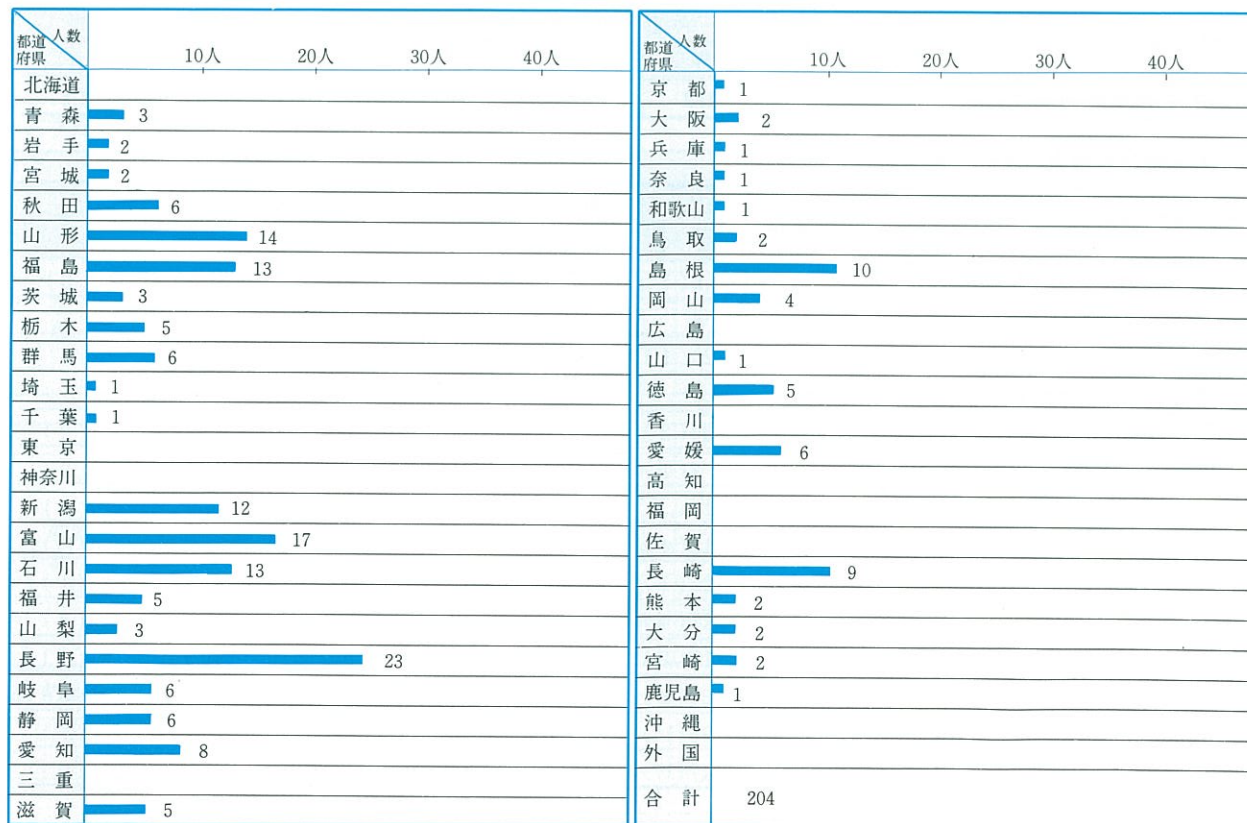
大学院学校教育研究科（修士課程）

専 攻 ・ コ ー ス		入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
			現 職	その他	計	現 職	その他	計
学校教育専攻	教育基礎コース	約15	6(1)	8(2)	14(3)	5(1)	5(2)	10(3)
	教育経営コース	約15	4	1	5	4	0	4
	教育方法コース	約10	20(1)	4(1)	24(2)	18	0	18
	生徒指導コース	約10	9	1	10	9	1	10
	計	50	39(2)	14(3)	53(5)	36(1)	6(2)	42(3)
幼児教育専攻		15	2(1)	2(1)	4(2)	1	5(2)	6(2)
障害児教育専攻		25	10	10(8)	20(8)	9	6(5)	15(5)
教科・領域教育専攻	言語系コース	約40	13(4)	22(13)	35(17)	9(2)	15(9)	24(11)
	社会系コース	約30	22(1)	15	37(1)	22(1)	8	30(1)
	自然系コース	約50	27(4)	15(1)	42(5)	26(4)	10	36(4)
	芸術系コース	約50	14(2)	22(9)	36(11)	13(2)	18(9)	31(11)
	生活・健康系コース	約40	20(3)	16(6)	36(9)	19(3)	10(5)	29(8)
計		210	96(14)	90(29)	186(43)	89(12)	61(23)	150(35)
合 計		300	147(17)	116(41)	263(58)	135(13)	78(32)	213(45)

()内は、女子で内数

10 平成元年度都道府県別入学状況

学校教育学部



大学院学校教育研究科（修士課程）

人数 都道府県	10人	20人	30人	40人	50人
北海道	11 (4)				
青 森	11 (5)				
岩 手	9 (3)				
宮 城	5 (3)				
秋 田	4 (3)				
山 形	6 (4)				
福 島	2 (2)				
茨 城	3 (3)				
栃 木	6 (5)				
群 馬	5 (5)				
埼 玉	18 (14)				
千 葉	6 (5)				
東 京	16 (7)				
神奈川	12 (10)				
新 潟	47 (30)				
富 山	6 (4)				
石 川	2 (2)				
福 井	1 (1)				
山 梨	4 (1)				
長 野	15 (12)				
岐 阜	6 (5)				
静 岡	4 (3)				
愛 知	2 (1)				
三 重	1 (1)				
滋 賀					

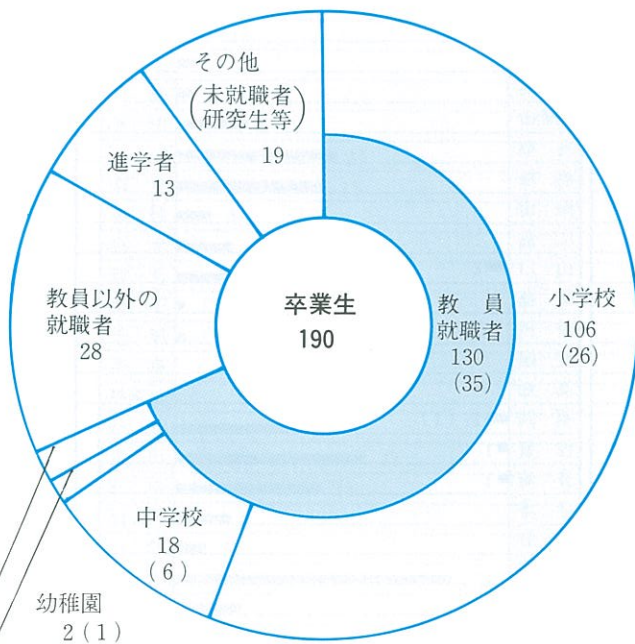
人数 都道府県	10人	20人	30人
京 都	1		
大 阪			
兵 庫			
奈 良			
和歌山			
鳥 取			
島 根			
岡 山			
広 島			
山 口	2		
徳 島			
香 川			
愛 媛			
高 知			
福 岡	2 (1)		
佐 賀	1		
長 崎	1		
熊 本			
大 分			
宮 崎			
鹿児島			
沖 縄	1 (1)		
外 国	3		
合 計	213 (135)		

()内は、現職教員で内数

11 昭和63年度卒業生・修了生の就職状況

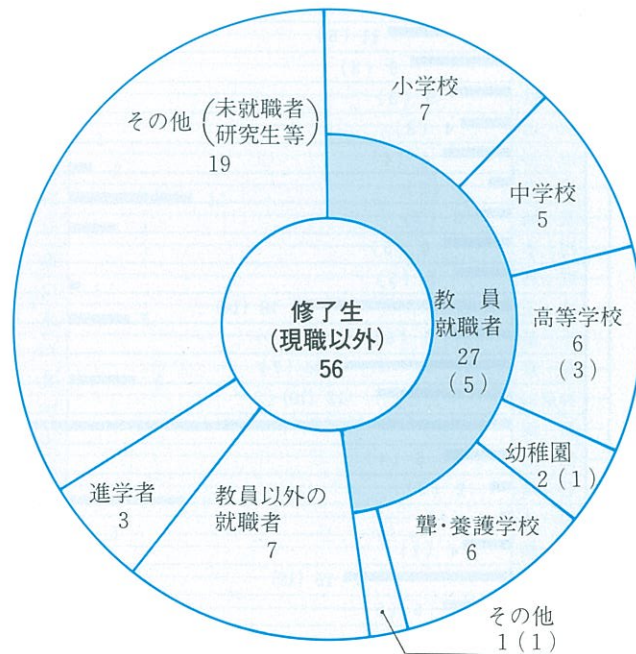
(平成元年 5月1日現在)

学校教育学部 (初等教育教員養成課程)



盲・聾・養護学校 4 (2)

大学院学校教育研究科 (修士課程)



()内は、育児休業・病休・産休教員の代替教員、その他1年以内の期限付き教員として採用された者で内数
 (参考) 大学院学校教育研究科の現職修了生は、129人(復職内訳 小学校68人、中学校41人、高等学校12人、幼稚園1人、聾学校1人、養護学校4人、短期大学1人、教育指導員1人)

12 日本育英会奨学生数

(平成元年 3 月 31 日現在)

区 分		奨 学 生 数		合 計	在籍者数	受 給 率 (%)
		第一種	第二種			
		併 用 貸 与				
学 部	1 年次	41	10	51	201	25.4
	2 年次	41	11	52	205	25.4
	3 年次	51	15	67(1)	203	33.0
		1				
	4 年次	61	20	82(1)	209	39.2
		1				
	小 計	194	56	252(2)	818	30.8
		2				
大 学 院	1 年次	32	—	32	72	44.4
	2 年次	29	—	29	57	50.9
	小 計	61	—	61	129	47.3
合 計		255	56	313(2)	947	33.1
		2				

()内は、第一種と第二種との併用貸与者で内数
大学院の在籍者数は、現職教員を除く数

(参考) 日本育英会以外の奨学事業団体 (大学を通して奨学金を交付している団体)の奨学生数 学部13人

13 福利厚生施設

大学会館

室名	備考
第1食堂	312席
第2食堂	28席
売店	書籍、文具、食料品、日用品等
喫茶室	58席
理容室	2席
美容室	2席
集会室	5室(内、和室2室)



第一食堂



売店



喫茶室



学生宿舎

区 分	構造・階数	延 面 積	収容人員
単身用学生宿舎	R 5	13,849㎡	720
区 分	構造・階数	延 面 積	戸 数
世帯用学生宿舎	R 5	4,007㎡	80 戸



14 公開講座等

公開講座

一般市民の教養を高め、地域の文化の向上及び現職教員等の研修に資するため、本学に公開講座を開設している。

(昭和63年度)

種 類	講 座 名	受講者数
一般公開講座	陶芸一掻き落し壺を作るー	33
	源氏物語の世界	31
	BASICプログラミング入門	20
	折紙教室	32
	親子パソコン教室	8
	日本の近代文学	21
	計	145



文化講演会

本学の学生及び一般市民の教養を高め、視野を広げるため上越市と共催で、優れた研究者、文化人を招いて講演会を開催している。

(昭和63年度)

演 題	講 師
心とことばー子供への語りかけー	声 優 小 原 乃梨子
これからの時代これからの日本	東京大学教授 木 村 尚三郎
バレーボールから学んだこと	千葉大学教授 豊 田 博
心がまえの心理学	本学副学長 田 中 博 正
映画の読み方	本学教授 大 内 茂 男





講堂

ホール内部

15 附属図書館

蔵書数

(平成元年 3月31日現在)

区 分	蔵 書 数	内 訳	
		和	洋
図 書	105,800冊	81,462	24,338
雑 誌	1,598種	1,083	515

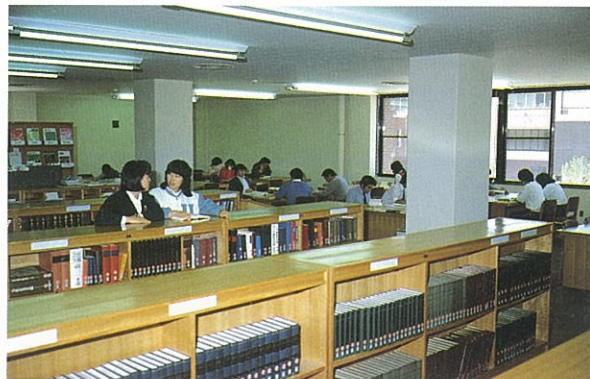
利用状況

(昭和63年度)

開 館 日 数		287	
入 館 者 数		78,402	
館 外 貸 出	利用人数	学 生	16,125
		職 員	1,728
		計	17,853
	貸出冊数	学 生	33,928
		職 員	6,080
		計	40,008
文献複写		受 付	212
		依 頼	3,160
相互貸借		貸 出	0
		借 受	126



附属図書館



閲覧室

16 学校教育研究センター

学校教育の実践に係る科学的研究並びに実地教育（教育実習を含む。）などに関する研究開発を総合的、統一的に推進することを目的とする学内共同の教育研究施設として、学校教育研究センターを設置している。

このセンターには、「教育資料・交流」「教育工学」「実地教育」の各分野を置いている。

機能 (1) 教師教育を推進するために、附属学校及び協力校との緊密な連携のもとに、教育実践にかかわる実証的科学的研究を進める。

(2) 優れた資質能力を備えた教員を養成する基盤として、教育の実地研究を推進し、教育実習及びその事前・事後の訓練について分析、検討や研究開発を進め、それらの抜本的改善を図る。

(3) 教育現場における教育実践にかかわる諸問題の解決や新しい教師教育推進のため、情報や資料を広く収集・整理するとともに、共同研究のできる教育理論と実践の総合的教育研究施設とする。

内容 「教育資料・交流」分野

- 1) 研究論文、資料の収集・整理・検索
- 2) 授業ビデオ・ライブラリーの設立と充実
- 3) 研究交流と施設の公開

「教育工学」分野

- 1) 教育工学的手法による授業の改善に関する研究・開発
- 2) 教育情報処理に関する研究・開発
- 3) 教授メディアに関する研究・開発
- 4) プロジェクト・チームによる研究の推進

「実地教育」分野

- 1) 授業に関する基礎的な実地研究
- 2) 教育実習の改善に関する研究
- 3) プロジェクト・チームによる研究の推進



情報処理演習室



スタジオ

17 附属実技教育研究指導センター

学部における教育や研究と密接な関連を保ち、主として学生の自学自習により、教育に関する实际的、技術的能力、実技指導能力などの涵養を図るため、学部に附属した実技教育研究指導センターを設置している。

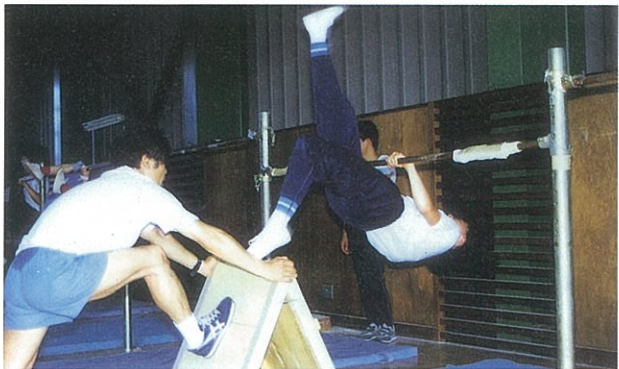
このセンターには、「音楽教育」「美術教育」「体育教育」「外国語教育」の各分野を置いている。



「音楽教育」分野



「美術教育」分野



「体育教育」分野



「外国語教育」分野

- 機能** 実技を伴う教科における実技指導力不足の状況を改善し、指導内容・方法に関する研究開発と指導力の向上を図るため、その指導等を行う。
- 「音楽教育」分野 音楽に関する理解の深化、各種楽器(特にピアノ)演奏や歌唱能力の伸長及び実力の認定
- 「美術教育」分野 美術・工芸に関する理解の深化、各種の美術・工芸技法の習熟を図るとともに、A V (視聴覚) 資料以外の各種の教材作成の技能の習熟
- 「体育教育」分野 体力の増強と各種の運動技法の習熟及び実力認定
- 「外国語教育」分野 外国語の読解、作文、聴解、対話に関する能力の伸長及び実力認定

18 附属障害児教育実践センター

大学院における障害児に関する実践的教育の研究推進と実地指導能力の向上を図るため、学部には附属した障害児教育実践センターを設置している。

このセンターでは、「教育臨床」「教育相談」「教材・教具」「指導者研修」の4分野が予定されている。

機能 障害児教育に関する臨臨床的、実践的な教育に重点を置き、複雑多岐にわたる障害児の個別指導を通して臨床経験を積み重ね、より質の高い診断・指導技術を向上させるため、研究・指導を行う。



教育臨床 (集団指導)



教育臨床 (個別指導)

19 情報教育研究・訓練センター

教育情報の収集や処理に関する基礎的研究と教育を目的とする学内共同の教育研究施設として、情報教育研究・訓練センターを設置している。(昭和63年度、学内措置による。)

現在このセンターでは、学内利用を目的とした教育情報データベースの構築が行われている。また、教育面では学部学生に対して教育情報処理の基礎訓練を行っており、併せて教官や大学院学生の研究も支援している。



センタールーム



情報教育の授業

20 保健管理センター

学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図るため、保健管理センターを設置している。

このセンターでは、心身の健康状態を客観的に把握し、指導・助言を行うため、定期健康診断をはじめ、専門の職員による健康相談や精神衛生相談を実施するとともに、種々の疾病やけがに対して応急措置を講じている。

21 附属学校

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属小学校及び附属中学校（昭和56年4月新潟大学教育学部附属高田小・中学校を移管）を設置している。また、将来は、附属幼稚園及び附属養護学校を設置する予定である。

（平成元年5月1日現在）

区 分	入学定員	児 童 ・ 生 徒 数							学 級 数
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計	
附属小学校	80	84(37)	81(41)	64(40)	81(38)	78(37)	80(38)	468(231)	12
附属中学校	120	125(56)	134(60)	136(62)	—	—	—	395(178)	9

（ ）内は、女子で内数



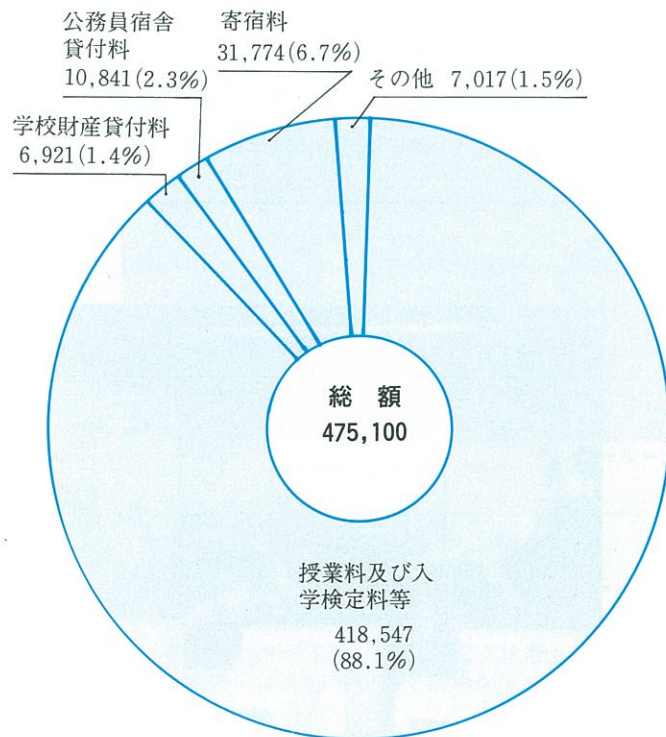
附属小学校



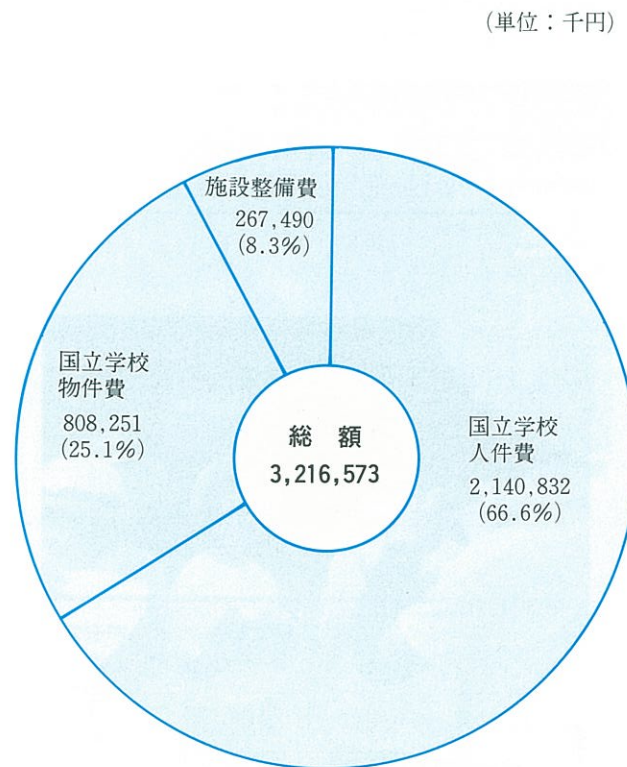
附属中学校

22 昭和63年度決算額

歳入決算額(国立学校特別会計)



歳出決算額(国立学校特別会計)

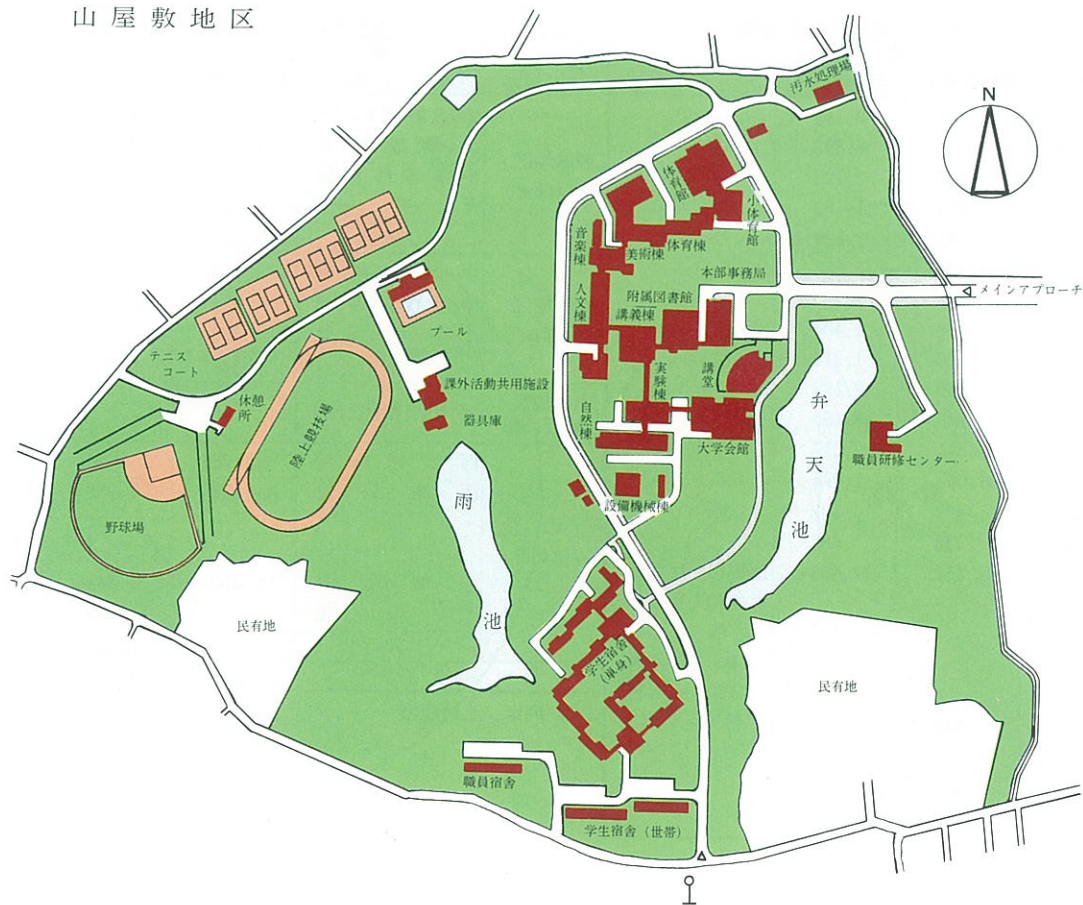


23 土地・建物

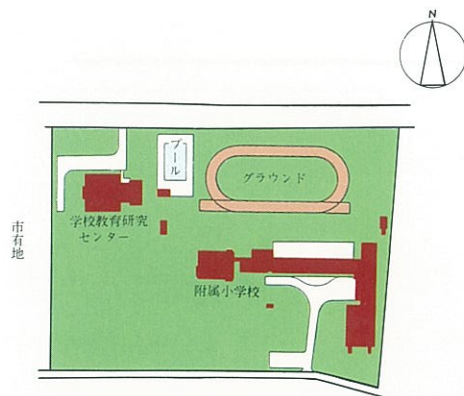
区 分	建 物			備 考	区 分	建 物			備 考
	名 称	建物面積㎡	延面積㎡			名 称	建物面積㎡	延面積㎡	
山屋敷地区 (356,199㎡)	人 文 棟	1,516	9,153	世帯40戸用2棟 单身60人用3棟 〃 80 〃 1棟 〃 100 〃 1棟 〃 120 〃 3棟 1棟30戸B型15戸 C型15戸	西城地区 (37,405㎡)	学校教育研究センター	893	1,864	
	自 然 棟	912	6,393			小 学 校 校 舎	1,801	3,506	
	講 義 棟	828	2,193			小 学 校 体 育 館	600	600	
	実 験 棟	573	1,152			そ の 他	281	289	
	音 楽 棟	741	2,829			計	3,575	6,259	
	美 術 棟	1,526	3,858		本城地区 (50,124㎡)	中 学 校 校 舎	1,623	3,724	
	体 育 棟	594	1,723			中 学 校 体 育 館	934	2,157	
	体 育 館	1,404	1,404			そ の 他	391	391	
	小 体 育 館	636	1,214			計	2,948	6,272	
	本部事務局	716	2,139		赤倉地区 (1,871㎡)	野外教育実習施設(予定)			
	附属図書館	945	3,196						
	大 学 会 館	1,641	2,217		そ の 他 (7,340㎡)	西 城 研 修 所	73	98	9棟33戸B型15戸 C型18戸
	講 堂	1,045	1,078			西 城 宿 舎	926	1,955	
	職員研修センター	402	402			北 城 宿 舎	452	1,341	1棟12戸E型
	設備機械棟	438	688			そ の 他	19	19	
	学 生 宿 舎	4,451	17,856			計	1,470	3,413	
					合 計		28,192	76,963	
	職 員 宿 舎	380	1,814		() 内は、土地面積				
	そ の 他	1,451	1,710						
	計	20,199	61,019						

24 建物配置図

山 屋 敷 地 区



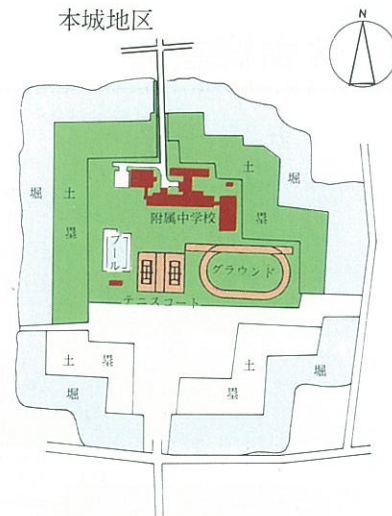
西城地区



附属小学校
学校教育研究センター



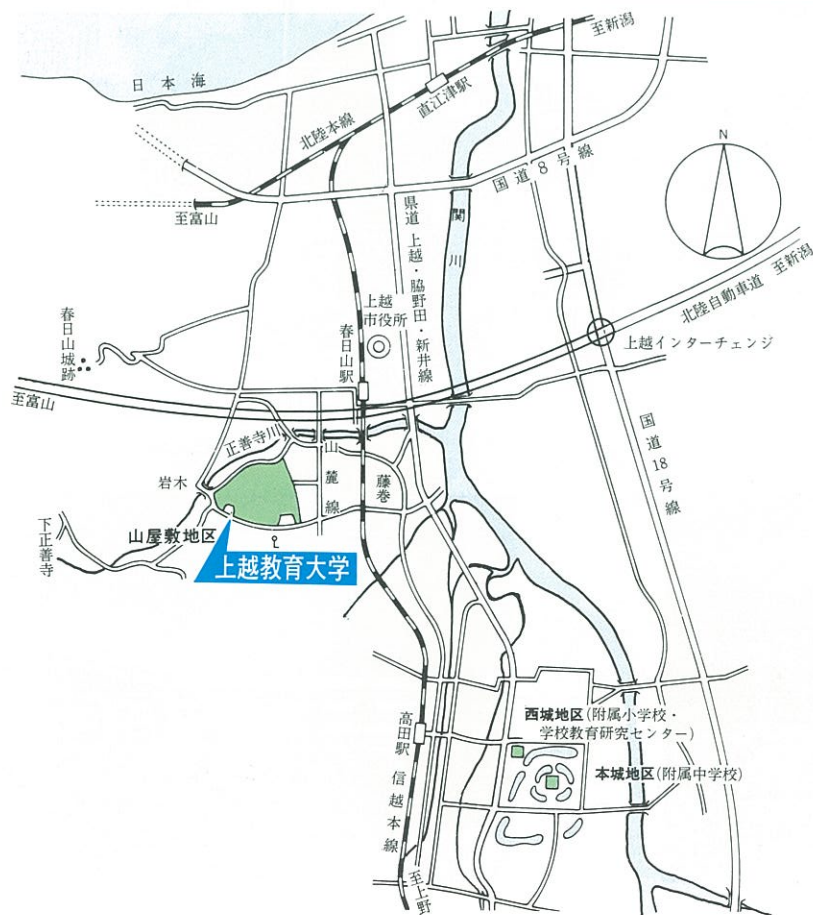
本城地区



附属中学校



25 位置図

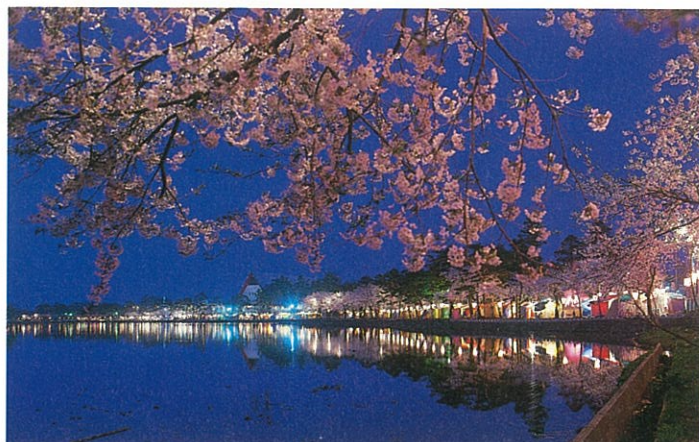


* 本学への道順

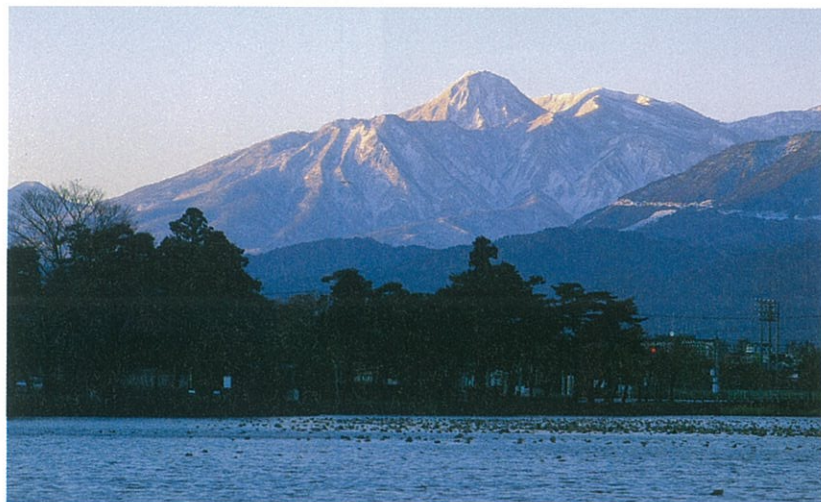
- 信越本線「高田駅」下車、高田駅近くの町5丁目停留所から教育大学線のバスに乗り乗車（約15分）教育大学下車。「高田駅」からタクシーで10分。
- 信越本線「春日山駅」（急行・特急通過駅）下車、徒歩約25分。
- 信越本線「直江津駅」下車、直江津駅前停留所から教育大学線のバスに乗り乗車（約20分）教育大学下車。「直江津駅」からタクシーで15分。



五智国分寺



高田城跡公園の夜桜



高田平野から望む妙高山



谷浜海岸

26 所在地

名	称	所 在 地	電 話 番 号
上越教育大学	事 務 局		
	学 校 教 育 学 部		
	大学院学校教育研究科		
	附 属 図 書 館		
	保 健 管 理 セ ン タ ー	〒943 上越市山屋敷町1番地	(0255)22—2411(代)
	大 学 会 館		
	学校教育学部附属実技教育 研究指導センター		
	学校教育学部附属障害児教 育実践センター		
	学校教育研究センター	〒943 上越市西城町1丁目7番2号	(0255)25—9147
	野外教育実習施設(予定)	〒949-12 新潟県中頸城郡妙高 原町大字赤倉157—3	
	学校教育学部附属小学校	〒943 上越市西城町1丁目7番1号	(0255)23—3610
	学校教育学部附属中学校	〒943 上越市本城町6番2号	(0255)23—5313
	単 身 用 学 生 宿 舎		
	世 帯 用 学 生 宿 舎	〒943 上越市山屋敷町1番地	



平成元年 6 月発行

編集発行 **上越教育大学総務部庶務課**

〒943 上越市山屋敷町 1 番地

電話 0255—22—2411



JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION